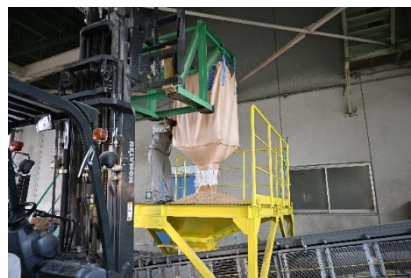


地域企業、丸紅グループ企業と連携し、地域資源の循環型モデルを実装

日清丸紅飼料株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：宮内 和広、以下、当社）は、東北エリアにおいて、地域企業および丸紅グループの企業と連携し、堆肥の活用による飼料用米の生産から保管・配合・飼料の供給までを一気通貫でつなぐ「耕畜連携」の取り組みを進めています。地域資源の循環を通じ、飼料原料の安定調達、環境負荷低減、畜産・農業の持続可能性向上を同時に実現する実証モデルとして展開しています。

取り組みのポイント

- ・ 株式会社いわて清流ファームでは事業を通じて排出された豚ふんを堆肥化しています。均一な粒度の堆肥は散布性に優れ、農産物を生産する方々からも高く評価されています。
- ・ 株式会社タカセ商会では、地域の耕作放棄地を活用し、堆肥を用いて飼料用米を生産しています。これにより地力回復を図り、水田の再生を段階的に実現しています。
- ・ 釜石グレーンセンター株式会社では飼料用米の搬入・保管を実施。保管スペースの拡張や搬入効率化などの体制整備により、競争力ある原料供給を実現しています。
- ・ 釜石飼料株式会社では飼料用米を原料として受け入れ、配合飼料を製造しています。
- ・ 製造された配合飼料は、当社がいわて清流ファームをはじめとする畜産生産者へ供給しています。
- ・ いわて清流ファームとタカセ商会が事業を営む住田町からも、畜産堆肥の利用促進、飼料用米の生産拡大に関しサポートいただいています。



今後の展望

当社は「安全・安心で高品質な飼料及び関連商品の生産と販売を行い、食品の安全性の確保に寄与する信頼性の高い企業として社会に貢献する」ことを、経営理念としています。畜水産業という地球環境の恩恵に与って、食の安定供給の基盤となる事業を行う私たちにとって、事業を通じたサステナビリティへの貢献は、将来の事業リスクを低減する上で不可欠なものであり、また未来への大きなチャンスでもあると捉えています。東北エリアにおける耕畜連携の取り組みは当社、地域企業、丸紅グループが連携することで、持続可能で豊かな社会づくりに繋がるものと考えており、今後も積極的に展開してまいります。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ

日清丸紅飼料株式会社 経営企画部

Mail : keieikikaku@mn-feed.com



日清丸紅飼料株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-5-1 さくら室町ビル4F

TEL 03-5201-3230 FAX 03-5201-1324

<https://www.mn-feed.com>